

令和元年度 第2回 宇部市地域自立支援協議会 会議録

日 時:令和2年2月20日(木) 18:00~20:00

場 所:宇部市総合福祉会館 4階 大ホール

出席者:委員 13名(欠席者5名)

委員 土屋会長、溝田副会長、安光委員、錦谷委員、長谷川委員、赤川委員、森尾委員、墨田委員、各務委員、中村委員、末次委員、井上委員、甲斐委員

市 健康福祉部 中野部長

障害福祉課 藤原課長、石津主幹、井上副課長、中村係長、上田係長、深津係長、松井主任

宇部市社会福祉協議会 生活支援課 島田係長

(傍聴者):1名

1 報告

(1) 「障がい等地域支援ブロック会議」及び「支援センター、社会福祉協議会及び障害福祉課連絡会議」の報告

・障がい等地域支援ブロック会議報告

・障がい等地域支援ブロック会議報告(令和元年7月~令和元年12月)(資料1-1)

(事務局)資料に沿って説明

(会長)説明についてのご意見、ご質問はありますか。

■質疑応答等

●精神障害の方の就労と子供のケースが多いように思われる。精神科の主治医との連携ということですが、大きな病院であれば精神保健福祉士がいるので、事業所とともに精神保健福祉士とも連携してほしい。

●学校の先生と連絡を取るの敷居が高い。

●学校としても各学校にコーディネーターがいるので連携を取ってほしい。学校の先生も情報共有が必要である。忙しくて電話に出れないこともあるが、折り返し連絡するなどに対応できる。

・支援センター、社会福祉協議会及び障害福祉課連絡会議の報告

・令和元年度 地域課題の最優先項目 取組実績(資料1-2)

(事務局・相談支援事業者・社会福祉協議会)資料に沿って説明

(会長)説明についてのご意見、ご質問はありますか。

■質疑応答等(1 障害者の就労について)

●A型は雇用契約を行い就労するので、一般就労に近い形で就労をする。福祉サービス事業所としてケア会議に出ることにより情報共有をしている。

●最近障害者の雇用が取り上げられることが多くなっており、法律により障害のある人を雇用しないといけな割合が決まっている。雇用指導官が達成していない企業への訪問を行い指導をし

ていく。年に1回、障害者雇用の合同面接会を行っており、就職の大きな機会になっている。

●面接会のパンフレットをぜひいろんなところへ置いてほしい。

■質疑応答等(2 精神科病院からの地域移行)

●病院側は退院していただく側なので地域の方にいろいろな取り組みをしていただきありがたい。

●地域の方が障害者を怖いと思うのと同じように障害者も病院から外に出ることを怖いと思っているので、いろいろな取り組みがあると安心できるのではないか。

●「うべまる」での共同受注で小野の道路の草刈りをしたが、地域の人に大変感謝された。同時に障害者であることを伝えると障害者でもしっかりと草刈りができることを驚かされた。いろいろなところで地域に貢献できているのではないか。これも一つの啓発活動になっている。偏見が強いと書いてあるが、職員側にも障害者に対する偏見があるのではないかと考えさせられた。一方で人格障害の人が事業所の受け入れを断られたという話をいまだに聞くことがある。また、小野田のサンパークでマルシェを開催したが、事業所で作った野菜などを販売したときに障害者への偏見の声を聴いてしまった。食品の衛生管理がきちんとしているかという課題もあるのではないかと考え、見直しを行った。

■質疑応答等(3 障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行)

●介護保険の事業所からは障害の特性のことがわからないので対応が難しいという声を聞いている。

●介護保険サービスに移行したが、介護保険事業所での支援が不十分で、障害福祉事業所での支援の方が対応及び理解がよかったというケースもある。介護保険事業所における障害者理解をより一層深めていくことが重要である。

●障害を持つ子の面倒を見ていた親が高齢となり世帯そのものを支援しなければいけなくなる。65歳になってから介護保険を使うことに対する不安感があり、介護保険を利用する場合のイメージがあれば変わってくるのではないか。

●親が介護保険のサービス、子が障害福祉のサービスを利用したといういいケースがあればぜひ紹介してほしい。

■質疑応答等(4 親亡き後の課題)

●親が亡くなったら子はどうなるのだろうという相談が多い。65歳を過ぎての新規申請で介護保険サービス利用となったケースがあった。

●親も子も成年後見を受けるというケースが増えている。また、お金がないので成年後見を受けられないというケースもある。

(2) 宇部市バリアフリー化マスタープランの策定について

・宇部市バリアフリー化マスタープラン(案)(資料2)

(事務局及び相談支援事業者)資料に沿って説明

(会長)説明についてのご意見、ご質問はありますか。

■質疑応答等

●宇部駅周辺のまち歩き点検に参加した。宇部線をよく利用しており、今日も宇部駅から琴芝駅まで利用したが、琴芝駅の建て替えで工事が始まっていたため、電車の運転手が駅の出口まで誘導してくれた。電車を止めて、誘導してくれたので申し訳ない気持ちがあった。実は6年前に盲導犬を連れて琴芝駅で電車に乗ろうとしたら乗車拒否にあった。JRに対して障害者差別であると抗議したが、JRも変わってきたのではないか。宇部駅にはエレベーターがなく、高齢者や障害者は非常に困っていたが、点検の時にはエレベーターの工事が始まっていた。ハード面もあるが、心のバリアフリーも重要である。点字ブロックの上に自転車が置いてあるとどうなるかなど、こういう風にしたらこうなるという事例を認識してもらうことが必要であり、心のバリアフリーにつながるのではないか。ぜひ、まち歩き点検、ワークショップの結果をいかし、宇部市全体として戦略的に進めてほしい。宇部市としてバリアフリー化推進への取組をお願いする。

(3) 日中支援サービス支援型共同生活援助事業について

・日中サービス支援型共同生活援助事業について(資料3)

(事務局)資料に沿って説明

(会長)説明についてのご意見、ご質問はありますか。

■質疑応答等

●日中サービス支援型共同生活援助のサービスを受けている障害者が、他の事業者の日中支援サービス、生活介護や就労に行くことは可能か。

(事務局)本人が希望すれば可能です。

2 その他

(事務局)障害者のつどいの案内を行った。